

(1) 建築物のライフサイクルカーボン評価を促進する制度について

基本構想および国内外の動向を踏まえ、建築物のライフサイクルカーボン評価を促進する制度はどうあるべきか。

- ・ ライフサイクルカーボンの削減にあたっての各ステークホルダーの役割はどうあるべきか。
- ・ 建築物のライフサイクルカーボン評価に係るルール策定にあたって留意すべき点はどのようなものか。
- ・ 建築物のライフサイクルカーボン評価の実施を促す措置や、評価結果の表示を促す措置はどうあるべきか。
- ・ 建材・設備のCO2等排出量原単位の整備はどう進めるべきか。
- ・ 建築物のライフサイクルカーボン評価を促進するための環境整備はどうあるべきか。

(2) 2030年ZEH・ZEB水準目標達成に向けた新築建築物の省エネ性能の一層の向上

2030年にZEH・ZEB水準の省エネ性能の確保を目指す目標に向けて、新築建築物の省エネ性能の一層の向上についてどのような施策を講ずるべきか。

- ・ より高い省エネ性能を有する住宅・建築物の新築を促すため、これまで、住宅トップランナー制度や性能向上計画認定制度、省エネ基準の段階的引き上げ等の措置を講じてきたところ。今後の省エネ基準の引き上げを見据えた取組はどうあるべきか。
- ・ 特に、現在評価されていない省エネ技術について、建築物への導入がしやすい環境を整備するための取組はどうあるべきか。
- ・ 省エネ基準の引き上げについて、円滑な施行を確保するための取組はどうあるべきか（設計者・施工者等へのサポートの観点）